

## 積算参考資料

工事名称 知立消防署屋外給水管更新工事  
工事場所 知立市 弘法二丁目 地内  
施設名 知立消防署  
積算基準 公共建築工事費積算基準 令和8年4月  
単価適用日 令和8年4月

### 工事概要

- ・ 構内舗装工事 1式
- ・ 給水管工事 1式

## 工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		













機械設備工事 中科目別内訳

知立消防署					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
給水設備	撤去工事	1	式		
給水設備	配管工事	1	式		
計					

建築工事 細目別内訳

知立消防署		構内舗装		撤去工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
舗装路盤材 とりこわし	機械 集積・積込み共	81	m3			
路盤すきとり (仮復旧分)	バックホ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加-5型	3.1	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホ0.28m3 土砂 DID区間有り 3.0km以下	84	m3			
処理料	アスファルトコンクリート塊 鹿島道路 愛知県知立市	84	m3			
計						

建築工事 細目別内訳

知立消防署		構内舗装		舗装工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
不陸整正	厚さ 15cm 500~1000㎡未満	810	㎡			
プライムコート		810	㎡			
基層工 (アスファルト舗装)	A-5-15 再生細粒 再生クッション 500-1000㎡未満	810	㎡			
タックコート		810	㎡			
表層工 (改質アスファルト舗装)	半たわみ性用改質アスファルト 厚さ5cm	810	㎡			
セメントミルク浸透	超速硬タイプ 空隙20%	810	㎡			
区画線工	溶融式(手動) 実線15cm	30	m			
区画線工	溶融式(手動) 文字15cm換算	8.5	m			
計						

機械設備工事 細目別内訳

知立消防署		給水設備		撤去工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断	アスファルト舗装版	49	m			
濁水処理費	舗装版切断用(濁水) 日立メンテナンス(株) 愛知県豊橋市	0.2	m3			
濁水運搬費 舗装版切断用	As舗装 ダンプトラック4t積 10km超え20km以内	1	台・回			
舗装路盤材とりこわし	機械 集積・積込み共	4.4	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 3.0km以下	4.4	m3			
処理料	アスファルトコンクリート塊 鹿島道路 愛知県知立市	4.4	m3			
既設配管撤去工事	機械室	1	式			
機械はつり(ダイヤブ ントカッターによる 配管用貫通口) 計	100~150mm 50mm	1	か所			

機械設備工事 細目別内訳

知立消防署		給水設備		配管工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)改修	ねじ～フランジ 接合 地中配管 20A	21	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)改修	ねじ～フランジ 接合 地中配管 40A	53	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)改修	ねじ～フランジ 接合 屋外架空・暗渠 20A	3	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)改修	ねじ～フランジ 接合 屋外架空・暗渠 40A	35	m			
仕切弁 (管端防食コブ)	10K(ねじ・給水用) 20A	2	個			
仕切弁 (管端防食コブ)	10K(ねじ・給水用) 40A	1	個			
ルキンプリジョイント	ハーフ形 40A	1	個			
座屈防止金具	施工とも	1	式			
地中埋設標	鉄製	7	個			
散水栓ボックス	水栓共	2	個			
水栓柱	合成樹脂製 13A	3	個			
水栓柱撤去	再使用しない	3	個			
流し台	幅1200	1	台			
流し台撤去	再使用しない	1	台			
埋設標識テープ	150幅	74	m			

機械設備工事 細目別内訳

知立消防署		給水設備		配管工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
埋設表示テープ 取付	150幅	74	m			
配管接続工事		1	式			
保温工事		1	式			
発生材積込み	混合廃棄物	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 混合廃棄物類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.1	t			
土工事		1	式			
仮復旧 (アスファルト舗装)	A-3-10 再生密粒 再生クワッチャン	44	m <sup>2</sup>			
発生土受入単価		33	m3			
計						



機械設備工事 別紙明細

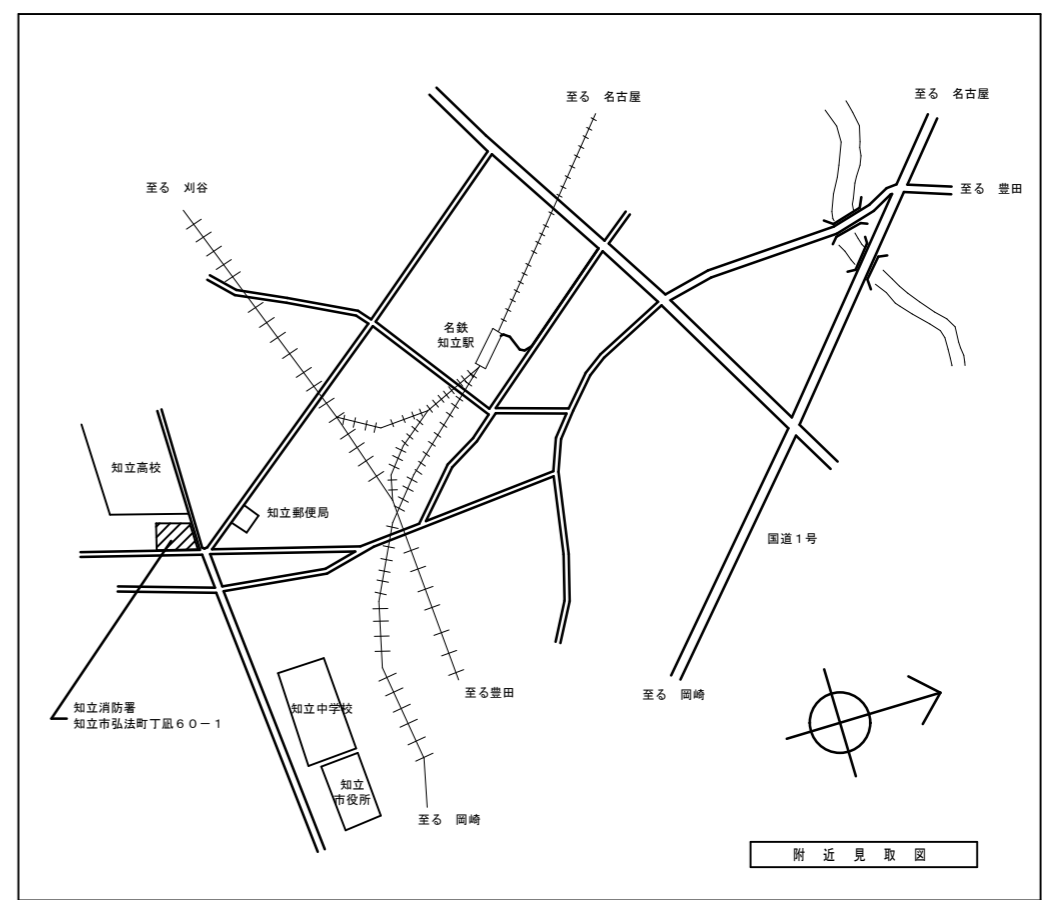
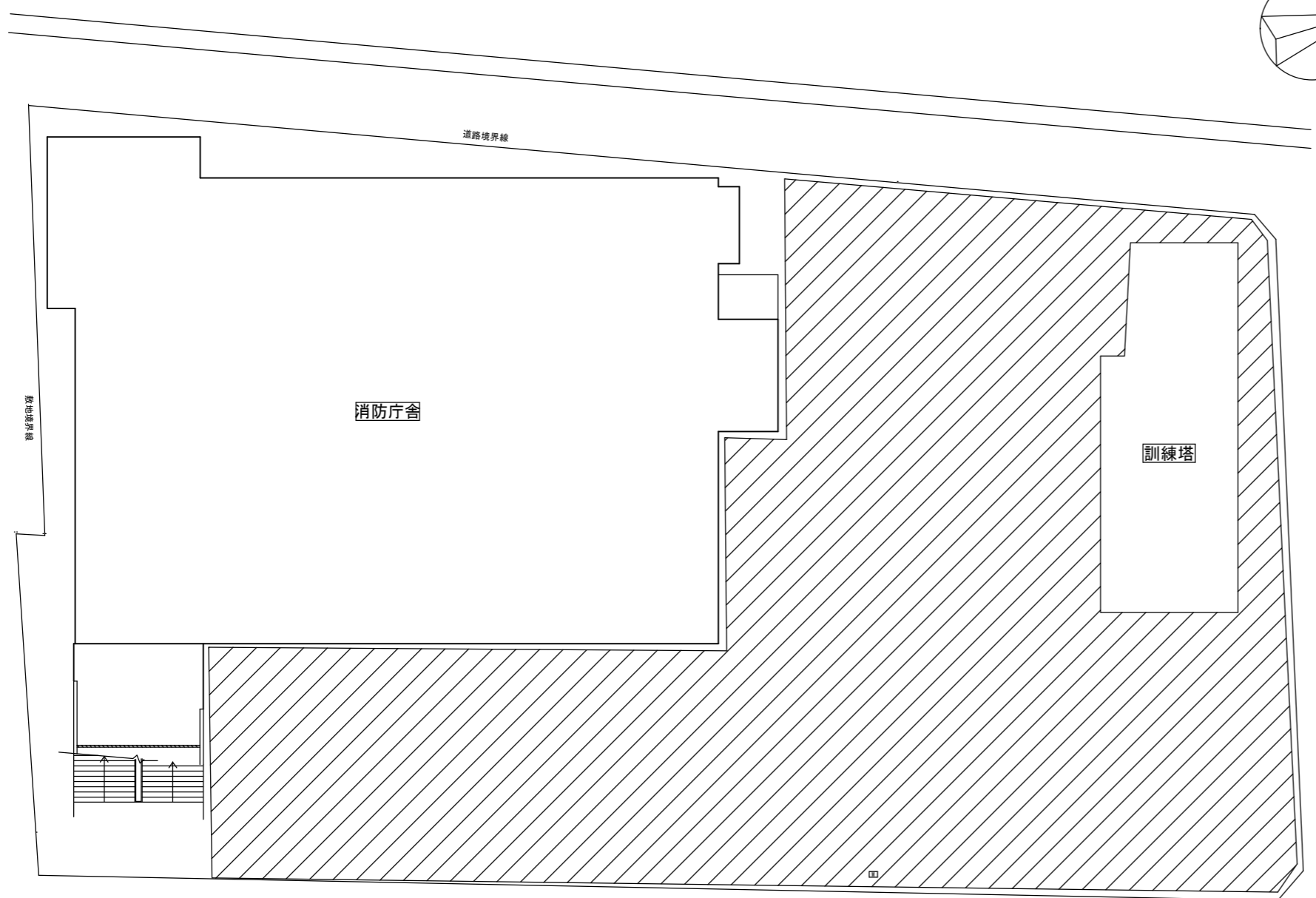
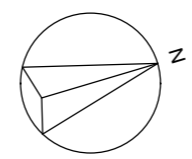
知立消防署		給水設備			配管工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
配管接続工事		1	式				
配管切断 (鋼管類) ・手間のみ	配管切断 40A 保温有	1	か所				
配管分岐 (鋼管類) ・手間のみ	配管分岐 40A 保温有	1	か所				
計							
保温工事		1	式				
給水管 保温	ホリシソ 屋外露出,浴室 ステンル鋼板 40A	35	m				
給水管 保温	ホリシソ 屋外露出,浴室 ステンル鋼板 20A	3	m				
計							

機械設備工事 別紙明細

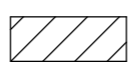
知立消防署		給水設備		配管工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
土工事		1	式			
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式加圧型	33	m3			
積込み		33	m3			
埋戻し	小規模土工 バックホウ0.13m3 A種(山砂の類)	22	m3			
埋戻し	小規模土工 バックホウ0.13m3 D種(再生コンクリート砂)	10	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 土砂 DID区間有り 3.0km以下	33	m3			
計						



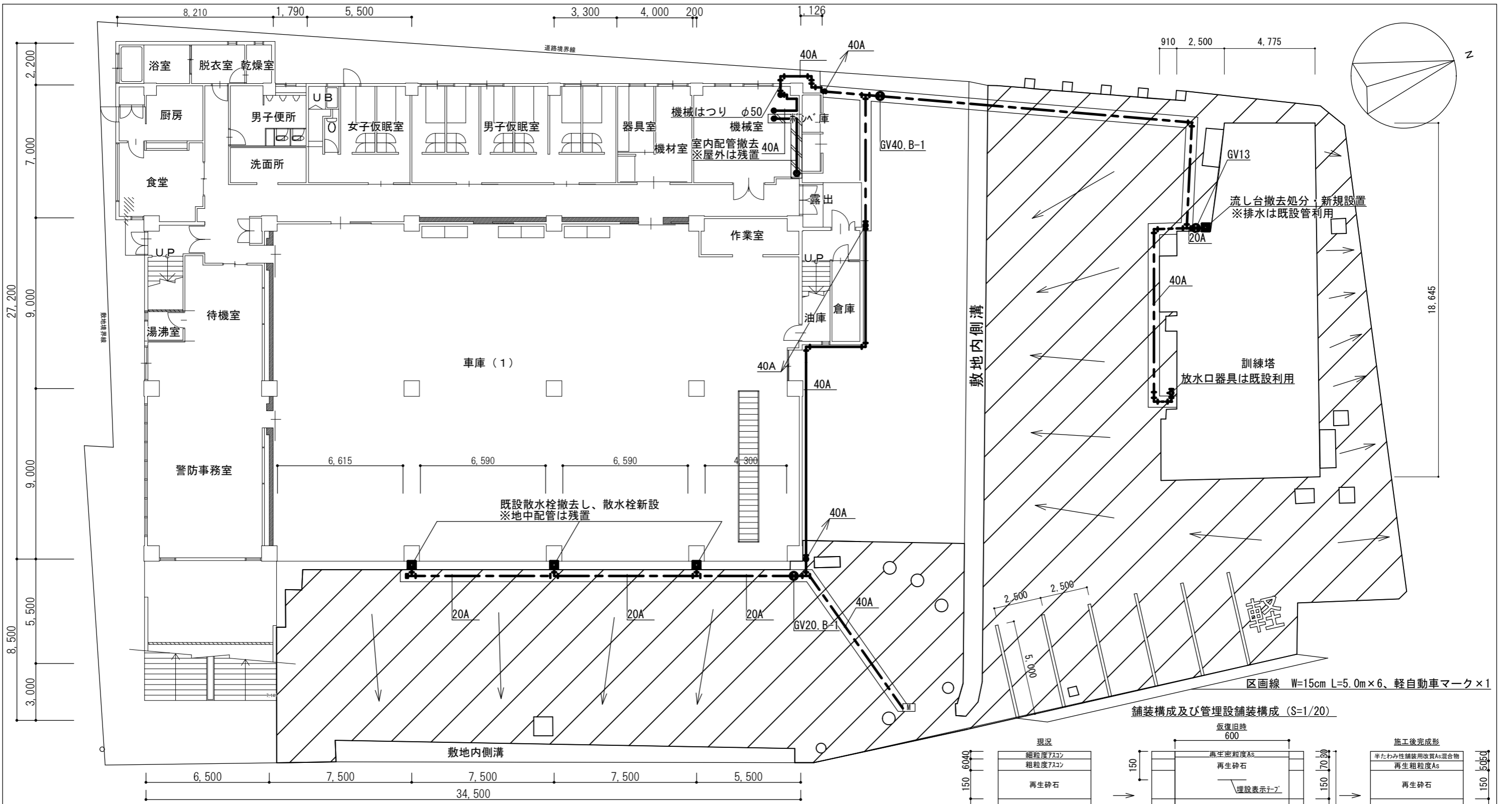
特記仕様書		付近見取図		
工事名	知立消防署屋外給水管更新工事			
路線等の名称	知立消防署			
工事場所	知立市 弘法二丁目 地内			
一般事項	<p>1. この特記事項等は下記を遵守する。但し、本工事に関係ない事項は適用しない。</p> <p>1) 工事請負契約書・知立市契約規則</p> <p>2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編・令和7年版）</p> <p>3) " 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編・令和7年版）</p> <p>4) " 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編・令和7年版）</p> <p>5) " 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編・令和7年版）</p> <p>6) " 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編・令和7年版）</p> <p>7) " 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編・令和7年版）</p> <p>8) " 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）</p> <p>9) 関係法令及び諸工事基準</p> <p>2. 設計図書に関する質疑は原則として、入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとする。</p> <p>3. 官公署への諸手続きは遅滞なく行う。それに必要な費用はすべて請負者の負担とする。</p> <p>4. 請負金額が500万円以上の工事は、監督員の確認を受けた上でコリンズに工事実績情報の登録を行うこと。（受注時、変更時、竣工時）</p> <p>5. 監督員と協議の結果、工事の内容変更及び追加事項が発生する場合の措置は、契約書の規定によるほか「知立市設計変更事務取扱要領」に定めるところによる。</p> <p>6. 本工事施工にあたり、既存建物及び既存物等に損傷を与えた場合には、請負者の責任において復旧補修する。尚、それに要する費用はすべて請負者の負担とし、事前事後に監督員に報告すること。</p> <p>7. 工事写真は監督員と打合せ、着工前、各工程及び竣工時に撮影し、工事写真帳（説明付）を1部提出すること。また着手前及び竣工時を抜粋した着完ダイジェスト版写真帳を2部提出すること。なお工事写真データは電子媒体により提出すること。</p> <p>8. 各工程完了時には事前に協議の上、監督員の検査を受けること。その際に補強又は修正の指示があった場合は、図示なき箇所であっても指示に従い施工すること。</p> <p>9. 工事着手前に充分なる検討の上、工程表を作成及び監督員に提出し、その事項を遵守し誠実に施工すること。</p> <p>10. 発生材の内、引渡しを要するものは、監督員の指定する場所に整理し、リストを作成し施設管理者へ引き渡す。引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに、「建設廃棄物処理指針」等関係法令の規定を遵守し、適正に処理する。また、建設副産物の実態調査（簡易センサス）における提出物を提出すること。なお「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」にかかる工事の場合は申請に協力すること。また、愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱を準用し、必要書類を提出すること。</p> <p>11. 完成時の提出物は下記のとおりとする。</p> <p>1) 竣工図（A3 2つ折り製本：2部） 2) 完成図のCADデータ：1部（電子媒体により提出すること）</p> <p>3) 施工図（2つ折り製本：1部、但し施工図の作成は監督員と協議により決定する） 4) 保全に関する資料 5) その他必要書類</p> <p>12. 現場代理人においては、受注者との直接的な雇用があること。</p> <p>13. 工事保険に加入すること。保険の種類は火災保険または組立保険とし、期間は工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。（特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後14日間とする。）保険金受取人（被保険者）は受注者とする。</p> <p>14. 建設現場標識を設けること。</p> <p>15. 本工事は、「知立市契約約款7条」、「知立市工事施工に関する事務取扱要領 第31条」に記載のある下請負届は、提出不要とする。</p>			
	週休2日制対象工事 ・発注者指定 ・受注者希望 <input checked="" type="radio"/> 対象外 理由（工程が現場条件に大きく制約される工事）			
工事内容	本工事は給水管及び構内舗装の劣化が著しいため、更新を行うもの。			
仮設工事	<p>1. 工事期間中は、工事関係者及び第三者に危害のないよう万全をつくすこと。</p> <p>2. 仮囲い等については施設管理者及び監督員と協議の上、必要に応じて充分なる措置を施すこと。</p> <p>3. 供用中の建物における工事のため、施設管理者及び監督員と協議の上、作業エリア、作業員の動線と利用者等の動線等を決定すること。また工事における安全、振動、騒音等には十分配慮の上施工すること</p>			
留意事項	<p>1. 現場施工は知立消防署の運営に支障がないよう手配し完了すること。</p> <p>2. 工事着手前に現地確認及び設計の照査を行い、疑義が生じた場合は監督員と協議の上施工すること。</p>			
再資源化等をずる施設の名称及び所在地 ※1	※1 積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。			
特記	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 40%;"> <p style="text-align: center;"><b>衣浦東部広域連合知立消防署</b></p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>工事名 <b>知立消防署屋外給水管更新工事</b></p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>縮尺(原図A3版) <b>NS</b></p> </div> </div>			
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>換図</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>製図</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>製図年月 <b>2026. 05</b></p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>図面名 <b>特記仕様書</b></p> </div> <div style="width: 10%;"> <p>図面No. <b>1</b></p> </div> </div>			



配置図 S=1/300

 : 工事エリア

工事名 知立消防署屋外給水管更新工事	図面番号 2
附近見取り図、配置図	縮尺 NS、1/300
衣浦東部広域連合知立消防署	



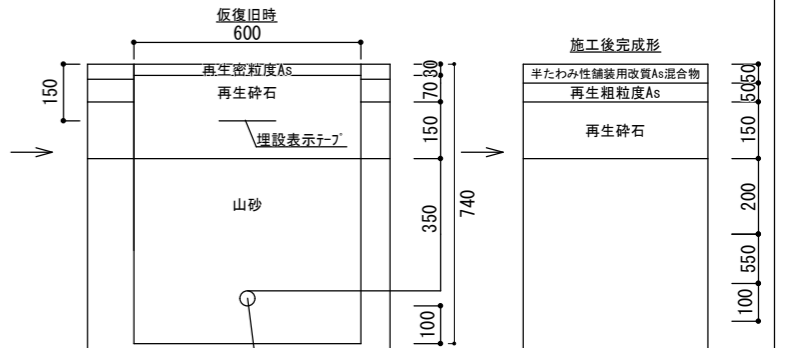
5m 3m 1m

1階平面図 S=1/100

：舗装改修範囲

埋設部	SGP-VD管 (埋設表示テープをGL-150mm程度に設置すること)
露出部	SGP-VB管 (保温はホリスレンフォーム・ステンレス鋼板)

60	細粒度730
150	粗粒度730
150	再生砕石
200	切り込み砂利



**特記事項**  
 ※露出管はGL+2.500程度に設置し、壁面より支持金物(間隔2.0m以下)を設置すること。  
 ※埋設管は土被り0.6m以上とすること。  
 ※屋外における既設管について、器具取付部分を除いて残置とする。  
 ※破線部分は埋設配管とし、実線部分は露出配管とする。  
 ※露出配管の保温はホリスレン、ステンレス鋼板にて行うこと。  
 ※配管撤去時には既設配管を破損させないように留意すること。

※表層部と基層部の間にはタックコート、路盤部と基層部の間にはプライムコートを塗布するものとする。  
 ※修復旧時のタックコート及びプライムコートは不要とする。  
 ※工事は消防署の出勤に影響のないように施工する必要があるため、工事をいくつかのステップに分けて施工する場合はその範囲は知立消防署および監督員との協議による。  
 ※給水切り替え時は一時的な断水となるため、時期について知立消防署と協議すること。  
 ※矢印は地表水排水方向を示す。地表面排水が滞らないように舗装勾配を計画すること。  
 ※屋外地中配管の分岐及び曲がり部には、地中埋設標(鉄製)を設置すること。

工事名 知立消防署屋外給水管更新工事	図面番号 3
舗装平面図及び給水配管図	縮尺 図示(A3)
衣浦東部広域連合知立消防署	